

【植田八幡宮の神事】

初詣



新年をお迎えするお祭りになります。例年、大晦日の0時、新年を迎えた瞬間から元旦の朝を経て、元日夕刻までお参りは続きます。2～7日は朝から夕方までお参りができます。三が日は御神酒振る舞いもあります。

夏祭りの輪くぐり神事



毎年7月の海の日に開催される大祭の一つです。茅の輪をくぐることで疫病を祓い健康祈願をする神事です。陽が落ちると奉納踊りも始まります。「夏越しの祓い

する人は、千歳の命延というなり」

【お知らせ】

お札やお守り、御朱印などお分かちいたします。

拝殿横の授与所にお越しください。

開所時間：午前8時30分から10時まで

七五三、初宮参り等のご祈祷の予約や、その他神社へのお問い合わせはホームページのお問い合わせもしくは、お電話でお願いします。留守番電話の場合はメッセージを入れてください。

節分祭の鬼払い神事



酒の振る舞いもあります。

節分の日に行われる、厄払い神事。豆まきのことです。毎年たくさんの地域のみなさんが厄払いに訪れます。御神酒・甘

秋祭りの餅投げ



10月のスポーツの日に行われる神事です。境内に二つの舞台が設けられ、太鼓の合図で一斉に始まる餅投げは圧巻です。

【ご祈祷について】

初宮参り、七五三、厄払い等の御祈祷は、すべてご予約制となっています。植田八幡宮ホームページもしくはお電話でご連絡ください。

お問い合わせをいただいてから、植田八幡宮より改めてご連絡させていただきます。

御祈祷や御祈願の種類

- ◆初宮参り、七五三、厄払い等の神社にて行う御祈祷
- ◆地鎮祭、入居祓い等の外祭(神社の外に出向いて行う御祈祷)

【植田八幡宮の歴史】

植田八幡宮の創建年代は不明です。

西暦500年頃、植田八幡宮が鎮座する場所には、植田八幡社古墳と呼ばれる前方後円墳があり、かつては、全長80メートルほどの古墳がありました。古墳の主は、尾張針名根命といわれています。

1471年(文明3年)、横地太郎左衛門秀綱が遠州より植田へ移り、植田城を築きました。この時、すでに古墳の上に八幡社はあったと言われています。

1580年(天正8年)室賀久太夫が八幡社を修造しました。

明治5年7月28日、村社に列格しました。

明治10年1月、字東屋敷の山神社、字中屋敷の山神社、字中屋敷の神明社を境内に移転合併しました。

明治21年10月、拝殿を改築、社務所を新造しました。

明治41年、大正天皇が皇太子の時、陸軍大演習が牧野ヶ池で行われた際に、愛馬「藤園」に乗馬された場所に記念碑が建てられました。碑文は、書家や歌人で有名な阪正臣(本名・坂正臣)によるものです。(右写真)



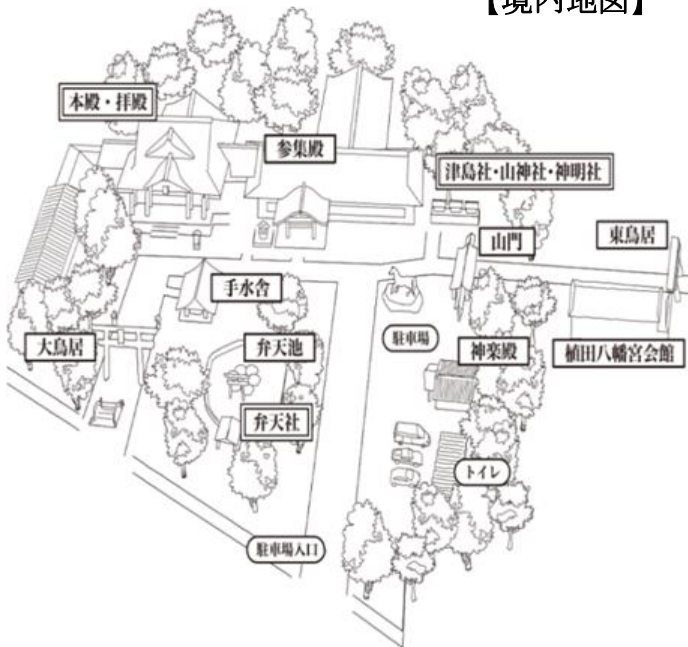
昭和49年11月3日、社殿を近代的構造により造営しました。

昭和59年8月24日、従来“八幡社”であったが、“植田八幡宮”に名称変更しました。

平成27年3月19日、平成26年4月より行っていた本殿大修繕が完成しました。

平成28年9月25日、本殿前の鳥居の建て替え竣工式を行いました。建て替え前の鳥居は、1747年(延享4年)に藤井彌六氏によって奉納されたものです。

【境内地図】



【御祭神】



ほんでん
本殿
はちまんおおかみ おうじんてんのう
八幡大神 (応神天皇)
よこちたろう さえもんひでつな
横地太郎左衛門秀綱
よこちごんぞうひでずみ
横地権蔵秀住



べんでんしや
弁天社
いち きしまひめのみこと
市杵嶋姫命



さんしや
三社 (左から順番に)
つしましや たけはやすきのおのみこと
津島社 建速須佐之男命
やまがみしや おおやまつみのかみ
山神社 大山祇神
しんめいしや あまてらすおおかみ
神明社 天照大御神



鎮座地 愛知県名古屋市長区植田西三丁目 605 番地

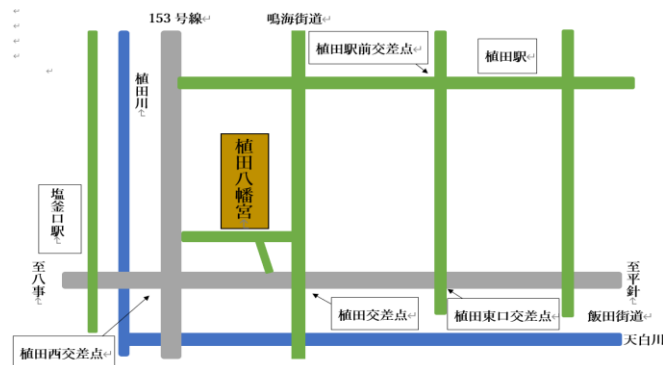
HP <https://uedahachimangu.nagoya/>

TEL&FAX 052-808-3818

社務所受付 午前 8 時 30 分から 10 時まで



皆様の御参拝、心よりお待ちしております。



<お車でお越しの方>

153 号線植田西交差点を東へ直進。次の交差点を左折。次の信号のない四つ角を左折。すぐ右側にあります。

公共交通機関【名古屋市営地下鉄鶴舞線】

植田駅下車 徒歩 6 分 塩釜口駅下車徒歩 10 分



植
田
八
幡
宮

天白の神社
植田の氏神様